

- 問1 世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する「田島弥平旧宅」の説明として、最も適切なものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 1. 銀の採掘から搬出までを行うために、山間部に築かれた鉱山と関連する施設 | 2. 積雪に耐えるための独特な屋根構造を持ち、地域の共同体で維持されてきた集落 | 3. 通風をよくする工夫を凝らした建物で、近代的な養蚕技術の開発・普及に貢献した施設 | 4. 官営の模範工場として、西洋の機械を導入し生糸の大量生産を可能にした施設 |
|---------------------------------------|---|--|--|
- 問2 関東平野などで盛んな近郊農業が、他の地域の農業と比較して有利な点について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. シラス台地のような火山灰地特有の土壌を活かし、大規模なかんがい施設を利用できる点。 | 2. 広大な土地と大型機械を活用することで、労働力をかけずに大量生産ができる点。 | 3. 輸送距離が短いため、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。 | 4. ビニールハウスなどを利用し、冬の温暖な気候を活かして他の地域より早く出荷できる点。 |
|--|--|---|--|
- 問3 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 渥美半島 | 2. 房総半島 | 3. 能登半島 | 4. 紀伊半島 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。 | 2. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。 | 3. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。 | 4. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。 |
|--|--|---|---|
- 問5 東京湾沿岸に広がる京葉工業地域の特色として、出荷額の構成比において最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 豊かな水資源と電力を利用した、パルプ・紙やアルミニウム工業の割合が高い。 | 2. 石油化学コンビナートや製鉄所が集中しているため、石油・石炭製品や化学工業、鉄鋼業の割合が高い。 | 3. 自動車産業の工場が内陸部まで広がっているため、輸送用機械の割合が突出して高い。 | 4. シリコンアイランドと呼ばれ、IC（集積回路）などの電子部品の割合が高い。 |
|---|--|--|---|
- 問6 1960年代には集落のすぐそばまで遠浅の海が迫っていた千葉県木更津市の沿岸部について、その後の地形図の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遠浅の海を活かした大規模な水田開発が進み、県内最大の穀倉地帯へと変化した。 | 2. 中央官庁や地方自治体の施設が移転・集積し、県内の政治・行政の中心地へと変化した。 | 3. 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。 | 4. 海岸沿いに広大な針葉樹林が植栽され、林業を中心とした地域へと変化した。 |
|--|---|--|--|
- 問7 甲州街道のような旧街道沿いにおいて、道路の左右に商店が立ち並ぶ独特の街並みが形成された歴史的な背景と理由について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都市計画によって、山間部を切り拓いて大型ショッピングモールを建設し、周辺を住宅地としたため。 | 2. 大規模な工場が建設され、そこで働く労働者のための社宅と購買部が街道沿いに配置されたため。 | 3. 参勤交代などの往来が増えたことで、旅人の休憩や宿泊、物資の売買を行う拠点が必要となったため。 | 4. 河川の氾濫から建物を守るために、標高の高い自然堤防の上に商業施設を集中させたため。 |
|---|---|---|--|
- 問8 群馬県の嬬恋村などの高原地域で、夏から秋にかけてキャベツの出荷が盛んに行われる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 成長を早めるために、ビニールハウスなどの施設を利用して人工的に温度を上げているから。 | 2. 広大な平野を活用し、大型機械を導入して大規模な土地利用型農業を行っているから。 | 3. 標高が高い地域の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているから。 | 4. 冬の温暖な気候を利用して、他の地域よりも早い時期に出荷する促成栽培を行っているから。 |
|---|--|--|---|
- 問9 東京都の工業出荷額の内訳をまとめた資料では、輸送用機械に次いで、印刷業が13.1%、情報通信機械が10.4%、電気機械が7.5%を占めるという特徴があります。このように、巨大な消費地や情報の中心地であるという立地条件を活かした工業の形態を何と呼びますか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 1. 先端技術産業 | 2. 都市型工業 | 3. 地場産業 | 4. 重化学工業 |
|-----------|----------|---------|----------|
- 問10 東京都の人口に関する統計において、昼間人口が約1557万人であるのに対し、夜間の常住人口は約1315万人となっています。このように昼間人口が夜間人口を200万人以上も上回っている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 東京都の出生率が周辺の県に比べて非常に高く、若年層の人口が自然増加し続けているため。 | 2. 都心部の再開発により、郊外に住んでいた人々が再び東京都内へ住居を移す「都心回帰」が進んだため。 | 3. 東京都内に大規模な工場が建設され、夜間に周辺地域へ働きに出る労働者が減少したため。 | 4. 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。 |
|---|--|--|---|
- 問11 関東平野の広範囲に見られる、富士山などの火山から噴き出した灰が長い年月をかけて降り積もってきた、鉄分が酸化したことによる赤みを帯びた土の層を何と呼びますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1. 関東ローム | 2. 泥炭層 | 3. 真砂土 | 4. シラス |
|----------|--------|--------|--------|
- 問12 日本の人口動態に関する統計において、東京都では他地域から引っ越してくる人数（転入者数）が、他地域へ引っ越していく人数（転出者数）を大きく上回る状況が続いています。このような人口移動の結果として生じる人口の増加を何と呼びますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------|----------|----------|
| 1. 合計特殊出生率の向上 | 2. 人口爆発 | 3. 社会的増加 | 4. 自然的増加 |
|---------------|---------|----------|----------|
- 問13 日本の大都市圏において、都心のオフィス街や官庁街では「昼間人口」が「夜間人口」を大きく上回る傾向があります。このような現象が起こる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから | 2. 都心部では夜間の騒音問題为了避免するため、住民が夜間だけ郊外へ移動するように義務付けられているから | 3. 都市中心部において、昼間の時間帯だけ地方からの観光客が一時的に住民登録を行う制度があるから | 4. 都心の再開発によって大規模なマンションが建設され、昼間に活動する主婦や高齢者の居住者が増えたから |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 通風をよくする工夫を凝らした建物で、近代的な養蚕技術の開発・普及に貢献した施設	田島弥平はカイコを健康に育てるための換気技術を確立し、そのための建築様式を広めました。この養蚕の技術革新が、後の富岡製糸場での大規模な製糸活動を支える重要な要素となりました。
問2	答え 3 輸送距離が短いため、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。	近郊農業の最大の利点は、市場である大都市までの距離が近いことです。これにより、トラック輸送のコストを低く抑えられるほか、鮮度が落ちやすい葉物野菜などを新鮮な状態で消費者に届けることが可能になります。冬の温暖な気候を利用するのは「促成栽培」の特徴であり、広大な土地の利用はアメリカなどの「大規模農業」、シラス台地の利用は九州地方（南九州）の農業の特色です。
問3	答え 2 房総半島	この地域では地引き網による漁業が発展し、干鰯（ほしか）と呼ばれる肥料（金肥）が多く生産された。これは商品作物の栽培を支える重要な肥料として、西日本を含めた全国へ流通した。
問4	答え 4 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。	千葉県や茨城県などの関東地方では、巨大な消費地である東京に隣接しているという地理的条件を活かした「近郊農業」が発展しています。キャベツのように重量があり、鮮度が求められる野菜は、輸送距離が短い近郊地域からの出荷が有利になります。そのため、東京都中央卸売市場の出荷量統計においても、関東地方の占める割合が約4割という高い水準になっています。
問5	答え 2 石油化学コンビナートや製鉄所が集中しているため、石油・石炭製品や化学工業、鉄鋼業の割合が高い。	京葉工業地域は、千葉県の東京湾沿岸を埋め立てて造成された工業地域です。原材料の輸入や製品の輸出に便利な港湾機能を活かし、石油・石炭製品、化学、鉄鋼といった重化学工業が高度に発達しています。特に石油・石炭製品の出荷額は、県内の工業生産において首位となることが多く、この地域の経済を支える大きな柱となっています。
問6	答え 3 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。	木更津市の沿岸部は、高度経済成長期以降に遠浅の海が大規模に埋め立てられ、京葉工業地域の一部として発展しました。地形図上では、かつての海岸線よりも海側に「木材港」といった地名や大規模な工場、発電所、それらを結ぶ「みなと大橋」などのインフラが整備されている様子が確認できます。針葉樹林や水田が広がったという事実はなく、官公庁の集中も見られません。
問7	答え 3 参勤交代などの往来が増えたことで、旅人の休憩や宿泊、物資の売買を行う拠点が必要となったため。	江戸時代に整備された五街道の一つである甲州街道では、参勤交代の行列や商人の移動が盛んに行われました。人々が利用しやすいように、道の両側に宿場や商店が並ぶ「路村（ろそん）」に近い形態の集落が発達しました。これが現代においても商店街としての性格を残し、街並みを形成する要因となっています。
問8	答え 3 標高が高い地域の涼しい気候を利用し、平地での生産が難しい時期に栽培しているから。	群馬県の高原地帯では、標高の高さによる冷涼な気候を活かし、平地では暑すぎて栽培が適さない夏から秋にかけて野菜を育てる「高冷地農業（抑制栽培）」が行われています。これにより、市場に野菜が不足する時期に供給できるという強みがあります。
問9	答え 2 都市型工業	東京都は人口が極めて多い大消費地であり、出版社や報道機関、企業の本社などが集中しています。そのため、情報の伝達に必要な印刷物や、情報通信機器、電気機械といった、消費者のニーズに素早く対応する必要がある製品の製造が盛んです。このような大都市特有の背景を持った工業を都市型工業といいます。
問10	答え 4 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。	東京都は日本の政治・経済・教育の中心地であり、多くの企業や学校が集中しています。そのため、夜間は埼玉県や千葉県、神奈川県といった近隣都県の自宅を過ごしている人々が、日中になると仕事や学びのために東京都へ移動してきます。この通勤・通学に伴う人口移動の結果、東京都の昼間人口は夜間人口（その場所に住んでいる人の数）を大幅に上回るようになります。
問11	答え 1 関東ローム	関東平野の大部分を覆うこの土層は、富士山や箱根山、浅間山といった周辺火山の噴火によって放出された火山灰が風で運ばれ、堆積したものです。この層は酸化した鉄分を含むため特有の赤色を呈しており、関東平野における台地の主要な構成要素となっています。九州南部に広がる火山灰由来の白い地層「シラス」と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 社会的増加	人口の増減は、出生と死亡の差によって決まる「自然的増減」と、転入と転出の差によって決まる「社会的増減」の2種類に分けられます。東京都は、進学や就職を目的として地方から多くの人々が流入する「転入超過」の状態にあるため、人口移動に伴う社会的増加が顕著なのが特徴です。
問13	答え 1 郊外の住宅地から都市の中心部へ、多くの人々が通勤や通学のために移動してくるから	昼間人口は、その地域に住んでいる人（夜間人口）に、他の地域から通勤・通学してくる人を足し、そこから他の地域へ通勤・通学する人を引いて算出されます。東京都心などの都市中心部には企業や学校が集中しているため、昼間に流入する人口が非常に多くなり、夜間の居住人口を大幅に上回る現象が生じます。

- 問1 千葉県農業において、大消費地である東京圏に隣接している利点を活かし、野菜などの産出額を押し上げている農業の形態を何と呼びますか。
（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 大規模農業 2. 抑制栽培 3. 近郊農業 4. 促成栽培
- 問2 千葉県の産業や人口の特色について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものを次から選びなさい。
（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。
2. 観光業が産業の中心であるため第3次産業の割合は非常に高いが、製造品出荷額や農業産出額は全国平均に及ばない。
3. 日本海側の気候を活かした稲作が盛んで農業産出額は高いが、人口および第3次産業の割合は全国平均を下回っている。
4. 古くからの文化財が多く観光客は多いが、大規模な工業地域を持たないため、製造品出荷額は全国平均を下回る。
- 問3 関東地方のある県の農業産出額の統計において、米の産出額が約400億円であるのに対し、野菜の産出額は約840億円、花きの産出額は約140億円と、野菜や花きの割合が非常に高くなっています。ネギやほうれん草などの生産が盛んな、この統計が示す県はどこですか。
（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 茨城県 2. 栃木県 3. 群馬県 4. 千葉県
- 問4 1990年から2020年にかけての茨城県つくば市の人口推移について、2005年の鉄道開業が与えた影響と人口の変化を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 鉄道の開業によって東京都心への利便性が向上したことで、人口の増加が継続した
2. 鉄道網の整備により周辺都市へ人口が流出したため、夜間人口が1990年代よりも大幅に減少した
3. 鉄道の開業をきっかけに、利便性は高まったものの居住人口が減少に転じる傾向がみられた
4. 鉄道が開業したが、全国的な少子高齢化の影響を強く受け、2000年代以降は人口が横ばいとなった
- 問5 北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものととして、最も適切なものはどれか。
（2021年 静岡県公立入試 類似）
1. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため
2. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため
3. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため
4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため
- 問6 東京都中央卸売市場におけるキャベツの月別出荷量を確認すると、愛知県や千葉県は1月から5月にかけての出荷が多い一方、群馬県は7月から10月にかけて突出して出荷量が多くなっています。群馬県がこの時期に大量の出荷を可能にしている背景として、最も適切なものはどれですか。
（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 広大な平坦地を活かして大型機械を導入し、他の地域よりも短期間で大量に収穫しているため
2. 消費地である東京に近いため、輸送コストを抑えて年間を通じて安定した供給を行っているため
3. 冬の寒さが厳しいため、大規模なビニールハウスや温室などの施設を利用して成長を早めているため
4. 標高の高い地域特有の夏の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているため
- 問7 18世紀初頭の日本の農業生産において、全体としては田の面積が畑の面積を上回る中で、例外的に畑の面積の方が広がった地域はどこですか。
（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 東北地方 2. 関東地方 3. 近畿地方 4. 九州地方
- 問8 関東地方の各都県を比較した統計において、ある地域は「昼夜間人口比率」が118.1と突出して高く、周辺の県では80から90台という100を下回る数値を示しています。この数値が118.1である地域において、昼間の人口が夜間の居住人口を大きく上回っている主な理由として適切なものはどれですか。
（2018年 兵庫県公立入試 類似）
1. 都心部の人口密度が低くなり、夜間に居住する若者世代が急増したため
2. 周辺の県から東京都などの都心部へ、仕事や通学のために移動してくる人が多いため
3. 観光客の数が年間を通じて安定しており、夜間の宿泊者数が昼間の訪問者数を上回るため
4. 大規模な工場が郊外に移転し、夜間に働く労働者が都心部に居住しなくなったため
- 問9 さいたま市の人口統計において、常住する「夜間人口」が「昼間人口」を上回り、昼夜間人口比率が約93.0%と100%を下回る主な理由は、どのような背景によるものか。適切な説明を選びなさい。
（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大規模な工業地帯が形成されており、夜間に働く交代制の労働者が他地域から多く流入するため
2. 高齢化の影響により、市外へ働きに出る現役世代が減り、日中も市内に留まる住民の割合が急増したため
3. 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため
4. 商業施設が市街地の中央に集中しているため、近隣の県から買い物客が多く流入し、夜間人口が相対的に少なくなるため
- 問10 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。
（2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。
2. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。
3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。
4. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。
- 問11 群馬県北部の地点から南東の埼玉県側の地点を結ぶ地形の断面的な特徴について、その標高の変化を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 北部の山地と南東の平野部の間に巨大な盆地が存在するため、中央部で一度標高が大きく下がった後に再び上昇する地形
2. 群馬県北部から埼玉県にかけて標高の差がほとんどなく、全域にわたって標高100メートル以下の平坦な土地が広がる地形
3. 南東側の平野部から北部の山地に向けて標高が緩やかに上昇し、標高500メートル程度のなだらかな丘陵地が続く地形
4. 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形
- 問12 関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してきた赤土の層を何といいますか。
（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. 泥炭地 2. マサ土 3. 関東ローム層 4. シラス台地

答え合わせ・解説

問1	答え 3 近郊農業	千葉県は、人口が集中する東京などの大都市に近いという地理的条件を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産して出荷する近郊農業が発展しています。この仕組みにより、輸送コストを抑えながら高い需要に応えることができるため、全国でも有数の農業産出額を維持しています。
問2	答え 1 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。	千葉県は首都圏の一角として膨大な人口を抱えており、第3次産業有業者割合が高いのが特徴です。産業面では、京葉工業地域による工業生産と、全国有数の農業産出額を両立させており、面積が全国平均に近い中で、これほど多角的に高い指標を示す県は全国的にも珍しい存在です。
問3	答え 4 千葉県	千葉県は全国でもトップクラスの農業産出額を誇る県であり、特に野菜や花きの生産において、主食である米を大きく上回る産出額を記録しています。これは東京という巨大市場に隣接しているため、鮮度が求められるネギやほうれん草などの野菜、および観賞用の花きの栽培に特化しているためです。
問4	答え 1 鉄道の開業によって東京都心への利便性が向上したことで、人口の増加が継続した	つくば市では、2005年のつくばエクスプレス（高速鉄道）の開業により、東京都心との所要時間が大幅に短縮され、交通利便性が飛躍的に向上しました。統計資料によると、1990年から2020年にかけて夜間人口を示す数値は一貫して右肩上がりの伸びを示しており、鉄道開業後も人口減少に転じることなく成長を続けています。これは交通網の整備が居住地としての魅力を高め、新たな住民の流入を促進した典型的な事例といえます。
問5	答え 2 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため	北関東工業地域は、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路が整備されたことで、部品や製品の配送が容易になりました。沿岸部に比べて安価で広い工場用地を確保しやすいため、多くの組み立て工場が進出し、機械工業が集積する内陸型の工業地域として発展しました。一方、港湾施設を前提とした重化学工業は、京葉工業地域や鹿島臨海工業地域の特色です。
問6	答え 4 標高の高い地域特有の夏の涼しい気候を利用して、平地での生産が難しい時期に栽培しているため	キャベツは本来、涼しい気候を好む野菜です。夏の気温が高い時期、平地にある愛知県や千葉県などの産地では生産量が落ちますが、群馬県の標高が高い地域（高冷地）では、その涼しさを利用して栽培が可能です。市場での供給が少なくなる時期に大量に出荷することで、農家は有利な価格で販売することができます。
問7	答え 2 関東地方	江戸時代中期の土地利用状況を地方別に比較すると、多くの地域で米を作るための「田」が優先的に確保されていましたが、関東地方だけは「畑」の面積の方が広がっていました。九州地方などで畑作が盛んなイメージを持つ受験生も多いですが、当時の統計上の面積比較において、畑が田を上回るという逆転現象が起きていたのは関東地方であるという点が重要な特徴です。
問8	答え 2 周辺の県から東京都などの都心部へ、仕事や通学のために移動してくる人が多いため	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口を100とした場合の昼間人口の割合を示します。東京都のような大都市圏の核となる地域では、事務職やサービス業が集まる第3次産業が盛んであり、埼玉県や千葉県などの周辺地域から通勤・通学者が流入するため、比率が100を大きく超える特徴があります。逆に周辺の県は、夜間に寝に帰る場所としての役割が強いため、比率が100を下回ります。
問9	答え 3 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため	さいたま市は、交通網の発達により東京都心へのアクセスが良いため、居住地としての役割（ベッドタウン）を強く持っています。そのため、夜間に市内に住んでいる「夜間人口」に対し、日中に仕事や学校のために市外（主に東京都）へ移動する人が多くなり、市内に残る「昼間人口」が少なくなります。昼間人口を夜間人口で割って算出する昼夜間人口比率が100%を下回るのは、こうした人口の流出が流入を上回っていることを示しています。
問10	答え 1 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。	栃木県は内陸に位置する北関東工業地域の一角を担っており、広い工場用地と発達した道路網を活かした工業展開がなされています。統計上、神奈川県や千葉県のような臨海部の重化学工業（鉄鋼や石油化学）が中心の県とは異なり、輸送用機械や電気機械といった加工組立型の工業が非常に強いことがデータからも読み取れます。特に電気機械器具は、栃木県工業を支える大きな柱の一つです。
問11	答え 4 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形	群馬県と新潟県の県境付近には、三国山脈などの標高2000メートル級の険しい山々が連なっています。そこから南東方向の埼玉県側へ向かうと、標高は急激に低くなり、日本最大の面積を持つ関東平野へとつながります。このように、北西側の高い山地と南東側の広大な平野という対照的な地形が隣接しているのが関東地方北部の大きな特徴です。
問12	答え 3 関東ローム層	関東平野の大部分を覆うこの層は、主に富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が風に運ばれ、堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分などの鉱物が酸化しているため、独特の赤みを帯びています。九州南部に広がる火山灰層であるシラス台地や、花こう岩が風化してできた中国地方に多いマサ土との違いを区別しましょう。

- 問1 東京都の人口に関する統計において、昼間人口が約1557万人であるのに対し、夜間の常住人口は約1315万人となっています。このように昼間人口が夜間人口を200万人以上も上回っている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。
 - 東京都内に大規模な工場が建設され、夜間に周辺地域へ働きに出る労働者が減少したため。
 - 東京都の出生率が周辺の県に比べて非常に高く、若年層の人口が自然増加し続けているため。
 - 都心部の再開発により、郊外に住んでいた人々が再び東京都内へ住居を移す「都心回帰」が進んだため。
- 問2 日本の近代化や文化の伝来について述べた次の記述のうち、ペリーの来航地である浦賀や、開港場となった横浜を擁する都道府県に該当する説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- 1915年に豊中市で最初の全国中等学校優勝野球大会が開催されるなど、古くからスポーツが盛んで全国最多の優勝回数を誇る府県である。
 - 正岡子規が野球用語を日本語に翻訳した地として知られ、幕末にはペリーが来航したものの開港は拒否し続けた歴史を持つ。
 - 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。
 - 明治以降の日本の主力輸出商品であった生糸の生産地として知られ、横浜港へ生糸を送り出す鉄道網が最初期に整備された内陸の県である。
- 問3 八王子市の「みなみ野」地区における1985年から2015年にかけての地形図の変化と、その背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- もともと存在した複数の神社をすべて取り壊し、その跡地に高層マンション群と新しい鉄道駅が建設された。
 - 古くからの市街地において、歴史的な景観を維持するために住宅の建て替えのみが行われ、駅周辺の土地利用に大きな変化は見られない。
 - もともと平地に広がっていた田畑が、工場誘致によって大規模な工業団地へと変化し、それとともに貨物専用の駅が作られた。
 - もともと森林や山地だった場所が、区画整理によって計画的な住宅地となり、利便性を高めるために新しい駅が建設された。
- 問4 栃木県・群馬県・茨城県を中心とする北関東の工業地域において、1960年代には内陸部に点在していた工場の分布が、近年では特定の交通網に沿って集中するように変化しています。この地域で新しく工場や物流拠点が建設されている場所の特徴として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- 高速道路のインターチェンジ周辺
 - 大型貨物船が停泊できる港湾の付近
 - 広大な農地を確保しやすい山間部の急斜面
 - 貨物列車の積み込みを行う鉄道駅の周辺
- 問5 日本の貿易における輸出拠点の統計データにおいて、成田国際空港は名古屋港などと並んで常に上位に位置しています。この空港から輸出される製品の特徴として最も適切なものを、次の説明の中から選びなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。
 - 世界各地へ専用の運搬船を用いて大量に輸出される自動車。
 - 重量があり船舶での輸送が適している鉄鋼や大型の工作機械。
 - 価格が安く大量輸送が前提となる、海外から輸入された衣類や日用雑貨。
- 問6 関東平野を貫いて流れ、日本の河川の中で最も広い流域面積を持つ一級河川の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- 信濃川
 - 石狩川
 - 利根川
 - 北上川
- 問7 ある産業の2021年における都道府県別事業所数を確認すると、東京都が55.5%と過半数を占めており、次いで大阪府、神奈川県の順となっています。このように、大都市への集中が著しい「出版業」が属する産業分類として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- せんい工業
 - 金属工業
 - 情報通信業
 - 食料品工業
- 問8 群馬県の高原地帯で行われている「抑制栽培」について、農家がこの栽培方法を選択している経済的な理由として最も適切な説明を選択してください。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- 九州地方などの暖かい地域と出荷時期を重ねることで、市場でのシェアを競い合うため。
 - 冬の寒さが厳しいため、ビニールハウスを利用して成長を早める促成栽培を行う必要があるから。
 - 大消費地である東京から遠いため、輸送コストを削減するために収穫時期を遅らせる必要があるから。
 - 平地での出荷が少なくなる夏から秋にかけて出荷することで、高い価格で販売できるから。
- 問9 栃木県佐野市などにおいて、1960年代後半と1990年代後半の地形図を比較した際に見られる変化について、土地利用の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- 森林が広がっていた山間部が、大規模な寺院が集まる宗教地区へと作り替えられている。
 - 沼地であった低湿地が、地形を変えることなくそのまま工場の排水処理施設として利用されている。
 - 都市部の商業地が、食料自給率を向上させるために大規模な畑へと転換されている。
 - かつては畑などの農地であった場所が、大規模な工業団地へと用途変更されている。
- 問10 栃木県の地形と冬の気候の特色を述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。なお、栃木県内には渡良瀬川や鬼怒川が流れ、北西部には標高の高い山地が連なっているものとします。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- 冬には北西の山地側から「男体おろし」などと呼ばれる乾燥した冷たい季節風が吹き下ろす。
 - 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。
 - 冬の日照時間が長いという気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「いちご」の栽培が盛んである。
 - 夏は南東の海側からの季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が多くなり、雷が発生しやすい。
- 問11 東京圏の人口動態を分析すると、東京都の昼夜間人口比率は119.2に達している一方、埼玉県や千葉県などの周辺の県では100を下回る数値となっています。このような統計上の特徴から読み取れる、東京圏における都市の機能分担と生活スタイルの説明として正しいものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- 周辺の県から東京都へ移住する人が急増した結果、周辺の県の夜間人口がゼロに近づいている。
 - 周辺の県に大規模な工業地帯が建設され、東京都から工場労働者が大量に流出している。
 - 東京都に事業所や大学などの都市機能が集中し、周辺の県が主に居住地の役割を担っている。
 - 東京都内で昼間に農作業を行う人が増えたため、一時的に人口が急増している。
- 問12 高度経済成長期に18歳で上京し、25歳で結婚、その4年後の1970年代半ばに多摩ニュータウンの集合住宅へ入居した人物のライフステージを考えたとき、当時の地域社会で起きていた現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- 入居時期が地域の出生数のピークと重なり、子供たちのための学校建設などが急ピッチで進んだ
 - 入居時期は1990年代にあたり、バブル崩壊による地価下落で人口が都心へ回帰し始めた
 - 入居当時は高度経済成長前であったため、周辺はまだ農村地帯であり集合住宅は稀であった
 - 2005年ごろの入居であったため、すでに地域の高齢化が進んでおり出生数は最低水準であった

答え合わせ・解説

問1	答え 1 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。	東京都は日本の政治・経済・教育の中心地であり、多くの企業や学校が集中しています。そのため、夜間は埼玉県や千葉県、神奈川県といった近隣都県の自宅で過ごしている人々が、日中になると仕事や学びのために東京都へ移動してきます。この通勤・通学に伴う人口移動の結果、東京都の昼間人口は夜間人口（その場所に住んでいる人の数）を大幅に上回るようになります。
問2	答え 3 1870年代に野球などの西洋文化がいち早く伝えられた地であり、県内には現在も日本を代表する貿易港である横浜港が位置している。	神奈川県は横浜港を通じて西洋の新しい技術や文化が流入する玄関口となりました。野球も1870年代に横浜の外国人居留地などを通じて伝えられたといわれています。選択肢にある最初の全国大会開催や最多優勝回数の記述は大阪府に関するものであり、生糸の生産地としての内陸県は群馬県などを指します。神奈川県は、バリー来航から貿易港の発展に至るまで、一貫して日本の開国プロセスの中心地でした。
問3	答え 4 もともと森林や山地だった場所が、区画整理によって計画的な住宅地となり、利便性を高めるために新しい駅が建設された。	1985年時点の地形図では等高線が入り組む山林であった場所が、2015年版ではなだらかな街区へと変化しており、これは大規模な造成が行われたことを示しています。「みなみ野」という地名の住宅地と「八王子みなみ野駅」の新設は、都市郊外における典型的なニュータウン開発の特徴を表しています。なお、神社などの歴史的施設は開発後も維持されることが多く、すべて取り壊されるといった説明は不適切です。
問4	答え 1 高速道路のインターチェンジ周辺	自動車輸送の重要性が高まったことで、トラックによる原材料の搬入や製品の出荷をよりスムーズに行う必要が生じました。北関東では東北自動車道や関越自動車道などの高速道路網が整備されたため、移動時間を短縮し輸送の効率性を高めることができるインターチェンジ付近に工場や物流センターが密集するようになりました。
問5	答え 1 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。
問6	答え 3 利根川	この河川は、群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都の1都5県にまたがる広大な流域を持っており、その面積は約16,840平方キロメートルに達します。日本で最も長い河川は信濃川ですが、流域面積ではこの河川が日本最大です。「坂東太郎」という愛称でも知られ、関東地方の農業や生活を支える重要な水資源となっています。
問7	答え 3 情報通信業	出版業は、書籍や雑誌などを通じて情報を発信・伝達する役割を担っているため、産業分類上は「情報通信業」に含まれます。この産業は、高度な情報が集まる大都市に立地する傾向が非常に強く、特に日本の中心である東京都に事業所が集中しています。食料品工業や金属工業などの製造業は、消費地に近いことや臨海部であることなどが重視されますが、出版業ほど東京一極集中は進んでいません。
問8	答え 4 平地での出荷が少なくなる夏から秋にかけて出荷することで、高い価格で販売できるから。	本来、野菜の多くは特定の季節に収穫が集中しますが、標高の高い涼しい気候を利用してあえて収穫時期を遅らせる「抑制栽培」を行うことで、供給が不足する夏場に市場へ出荷することが可能になります。これにより、他の産地との競合を避け、有利な価格で取引することができます。
問9	答え 4 かつては畑などの農地であった場所が、大規模な工業団地へと用途変更されている。	高度経済成長期以降、日本の産業構造が変化する中で、地方では大規模な工業団地の造成が進みました。栃木県佐野市などの事例を地形図で時系列に確認すると、それまで畑の地図記号が記されていた平坦な農地が、用途変更によって計画的な区画を持つ工業団地へと姿を変えた様子が分かります。
問10	答え 2 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。	栃木県の冬の気候は、南東（海側）からではなく、北西（山地側）から吹く乾燥した季節風によって決まります。そのため、冬は雨や雪が少なく乾燥した晴天の日が続くのが一般的です。選択肢にある「いちごの栽培」は、この豊富な日照時間を有効活用した施設園芸農業の代表例です。
問11	答え 3 東京都に事業所や大学などの都市機能が集中し、周辺の県が主に居住地の役割を担っている。	東京都の昼夜間人口比率が100を大きく超えている（119.2）事実は、夜間人口（住民）よりも昼間に都内に滞在する人の方が多いことを示しています。これは東京都がビジネスや教育の中心地として機能しており、周辺の県がいわゆる「ベッドタウン」として、人々の生活（居住）の拠点となっているという地域的な役割分担が背景にあります。
問12	答え 1 入居時期が地域の出生数のピークと重なり、子供たちのための学校建設などが急ピッチで進んだ	高度経済成長期から1970年代にかけては、都市部への人口集中を背景に郊外のニュータウン開発が最も盛んな時期でした。18歳で上京した若者が結婚を経て1970年代半ばに入居するという流れは、当時の典型的な人口移動のパターンを示しています。この時期はニュータウン内での出産が相次ぎ、出生数がピークに達したため、教育施設や公園といったインフラ整備が急激に求められる社会状況にありました。

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 都市化	都市の周辺部において、人口の増加や経済活動の拡大に伴い、農地や森林が住宅地や文教地区、商業地などへとつくり替えられる現象を都市化と呼びます。松濤の事例は、かつての広大な農場が都心部の発展に合わせて高級住宅地や美術館などが並ぶ地域へと変容した、土地利用の変化の典型的な具体例として知られています。
問2	答え 3 群馬県 – 前橋市	関東地方では、群馬県（前橋市）、栃木県（宇都宮市）、茨城県（水戸市）、神奈川県（横浜市）、埼玉県（さいたま市）が、県名と県庁所在地名の異なる自治体です。栃木県の県庁所在地は栃木市ではなく宇都宮市であり、茨城県は水戸市です。千葉県は県名と都市名が一致しています。
問3	答え 3 昼間人口	都市の中心部では、オフィスや学校が集中しているため、周辺の住宅地から多くの人々が移動してきます。この通勤・通学による流入人口を、もともとその場所に住んでいる居住人口（夜間人口）に加え、そこから他へ出かける人を差し引いたものを昼間人口と呼びます。都心部では昼間人口が夜間人口を大きく上回るのが一般的です。
問4	答え 3 工場の跡地などを活用した大規模な再開発	東京都心部では、以前は工場や倉庫として利用されていた土地が、再開発によって大規模な集合住宅（タワーマンションなど）へと生まれ変わりました。これにより、職場に近い環境を求める子育て世代などの人口流入が加速し、特定の年齢層の割合が高まる結果となりました。
問5	答え 4 輸送用機械	群馬県などの内陸部では、北関東工業地域を中心に自動車工業が発展しており、輸送用機械の割合が高くなっています。一方、石油・石炭製品は臨海部の千葉県で高く、印刷は情報が集積する東京都で高くなっています。
問6	答え 1 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭までまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問7	答え 4 群馬県	関東地方の白地図において、東京都から北へ向かうと埼玉県に到達します。そこからさらに北西、つまり日本海側や信越地方へ向かう方向に位置するのが群馬県です。このルートは北陸新幹線の経路とも一致しており、埼玉県と長野県の間に挟まれるような地理的關係にあります。
問8	答え 3 利根川の支流である小野川沿いに、江戸時代の風情を残す歴史的建造物や伊能忠敬旧宅などの史跡が保存されている。	香取市佐原は、利根川水運の中継地として栄えた歴史を持ち、現在も小野川沿いには当時の面影を残す蔵造りの商家などの歴史的建造物が立ち並んでいます。この地区は国の「重要伝統的建造物群保存地区」にも選定されており、日本地図を作成したことで知られる伊能忠敬の旧宅もこの川沿いに位置しています。地形図上でも、駅北側の水田地帯とは対照的に、川沿いに建物や史跡の記号が密集している様子が読み取れます。
問9	答え 3 原料となる原油や鉄鉱石の多くを海外からの輸入に頼っており、大型船舶による搬入や製品の出荷に便利なため	石油化学工業や製鉄業は、海外から大量の原油や鉄鉱石を輸入する必要があります。大型船舶が直接接岸できる水深の深い港湾付近に工場を置くことで、輸送コストを大幅に抑えることができます。このような立地を「臨海型」と呼び、京葉工業地域の発展を支える大きな要因となりました。一方、電子部品や自動車などは輸送効率を重視し、インターチェンジ付近の内陸部に立地する傾向があります。
問10	答え 1 その県が海に面していない内陸県であり、海水面漁業が行われないから。	栃木県のような内陸県は、領土が海に接していないため、物理的に海洋漁業（海水面漁業）を行うことができません。入試の統計問題では、漁獲量の項目が「0」または「－」と記載されていることが、その県が内陸県（栃木県、群馬県、埼玉県など）であることを判断する重要な手がかりとなります。北関東という位置関係とあわせて理解しておくことが重要です。
問11	答え 2 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。
問12	答え 3 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問13	答え 4 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている	北関東工業地域は、高速道路のインターチェンジ付近に工業団地が形成されているのが特徴で、特に自動車工業などの機械工業が盛んです。農業においても、交通網の整備は重要であり、婦恋村などに代表される標高の高い「高冷地」で夏に生産される高原野菜を、トラック輸送で首都圏へ迅速に出荷する体制が整えられています。港湾施設の拡大は、京浜工業地帯や鹿島臨海工業地帯などの沿岸部の特徴であるため、内陸部を中心とした設問の文脈には適しません。

- 問1 主要な空港における旅客数の内訳を比較した際、東京国際空港（羽田空港）が「国内移動の拠点」として機能していることを示す具体的なデータの説明として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 国際線が占める割合が年々減少しており、現在は国内線専用の空港として特化している。 | 2. 国際線の利用者数が成田国際空港を大きく上回り、旅客構成のほとんどを海外渡航者が占めている。 | 3. 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。 | 4. 輸出入額の統計において、国内向けの貨物輸送量が国際貨物の輸送量を上回っている。 |
|---|--|---|--|
- 問2 横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。 | 2. 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。 | 3. 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。 | 4. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問3 ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-------------|------------|---------------|
| 1. 道路の舗装率 | 2. 市街地の人口密度 | 3. 河川の流域面積 | 4. 等高線が示す標高の値 |
|-----------|-------------|------------|---------------|
- 問4 日本のユネスコ世界遺産（文化遺産）とその所在地の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2020年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. 姫路城 - 岡山県 | 2. 厳島神社 - 山口県 | 3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 - 群馬県 | 4. 石見銀山遺跡とその文化的景観 - 鳥取県 |
|--------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
- 問5 茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。 | 2. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。 | 3. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。 | 4. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。 |
|--|---|---|---|
- 問6 関東地方の東京都のような巨大な消費地の周辺において、移動距離の短さを活かし、鮮度が重要となる野菜や鶏卵などを生産・出荷する農業の形態を何といいますか。（2026年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 施設園芸農業 | 2. 促成栽培 | 3. 抑制栽培 | 4. 近郊農業 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問7 神奈川県の実業構造において、第三次産業の就業者割合が約75%と非常に高い水準にあり、かつ年間100万人を超える外国人観光客が訪れる背景にはどのような理由がありますか。その理由として適切な説明を選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 県内のほぼ全域が大規模な農業振興地域に指定されており、外国人観光客を対象とした体験型農業が産業の主軸に成長したため。 | 2. 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。 | 3. 東京都内からの交通利便性が低いため、県内で独自の自給自足的な経済圏が形成され、それが珍しい景観として外国人に評価されたため。 | 4. 京浜工業地帯に位置するすべての工場が、近年になって観光施設や高層マンションへと転換され、製造業に従事する者がいなくなったため。 |
|---|---|---|--|
- 問8 1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|-------|-------|
| 1. 果樹園 | 2. 針葉樹林 | 3. 水田 | 4. 荒地 |
|--------|---------|-------|-------|
- 問9 埼玉県行田市の市街地には、かつての城下町としての構造と、近代以降に発展した地場産業の歴史が共存する景観が見られます。敵の侵入を遅らせる目的で道路をクランク状に曲げた「柵形」と呼ばれる遺構や、明治時代以降に日本最大の産地として発展したある製品を保管するための蔵や鋸屋根の工場が今も残っています。この地域で発展した伝統的な産業として正しいものはどれですか。（2026年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|----------|
| 1. 織物産業 | 2. 陶磁器製造業 | 3. 足袋製造業 | 4. 醤油醸造業 |
|---------|-----------|----------|----------|
- 問10 群馬県におけるキャベツの出荷量は、3月は約80tであるのに対し、8月には1万tを超えて激増するという統計があります。また、群馬県の栽培地点は、千葉県などの平地の地点と比較して8月の気温が低く保たれているという特徴があります。このような標高の高い地域で行われる農業について説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。 | 2. 化学肥料や農薬を抑え、消費者の健康や環境に配慮して農作物を育てる有機農業。 | 3. 冬の温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで成長を早めて出荷時期をずらす促成栽培。 | 4. 大消費地に近い立地を活かして、生産コストを抑えながら鮮度の高い野菜を届ける近郊農業。 |
|--|--|---|---|
- 問11 2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|
| 1. 近郊農業 | 2. 高冷地農業 | 3. 促成栽培 | 4. 施設園芸農業 |
|---------|----------|---------|-----------|
- 問12 明治政府が輸出を拡大するために1872年に設立した官営模範工場であり、現在は世界文化遺産に登録されている富岡製糸場が所在する、関東地方北西部の内陸に位置する県はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 三重県 | 2. 群馬県 | 3. 福岡県 | 4. 長崎県 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 旅客数全体を示す指標の中で、国内線の利用者が占める割合が国際線の利用者よりも数倍大きい。	東京国際空港は成田国際空港と比較して、圧倒的に国内線の旅客数が多いという特徴があります。これは、東京が政治・経済の定点であり、全国各地の地方空港と結ばれているためです。統計資料においても、旅客全体のうち国内線が大部分を占める構成となっており、国際線主体の成田国際空港とは明確な役割の違いが見られます。
問2	答え 1 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	ベッドタウンと呼ばれる周辺都市では、朝の時間帯に都心のオフィスや学校へ向けて多くの住民が移動（流出）します。その結果、昼間にその都市に残っている人数は、夜間にそこで寝泊まりしている居住者数よりも少なくなります。つまり、昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）が100%を下回るのがこれらの都市の特徴です。
問3	答え 4 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。
問4	答え 3 富岡製糸場と絹産業遺産群－群馬県	富岡製糸場は北関東の群馬県に所在しています。他の選択肢について、姫路城は兵庫県、石見銀山は島根県、厳島神社は広島県に位置しているため、これらは誤りです。地理的な位置関係を正しく把握しておくことが重要です。
問5	答え 1 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	統計データを見ると、茨城県は他の3県と比較して山地が少なく平坦な土地が多いため、大規模な農業が可能です。その結果、野菜の産出額は4県の中で突出して高く、近郊農業の強みが表れています。同時に、製造品出荷額も11兆円を超える規模であり、農業と工業がバランスよく、かつ高いレベルで発展していることが読み取れます。山梨県や静岡県は果実の産出額に強みがありますが、野菜の産出額や土地の平坦さでは茨城県が上回ります。
問6	答え 4 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭に並ぶまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問7	答え 2 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。	神奈川県は東京に隣接し、日本最大級の人口を抱える都市圏の一部を形成しているため、消費活動を支える第三次産業が必然的に大きくなります。特に横浜は開港以来の歴史的背景を持ち、異国情緒ある景観や中華街、みなとみらい地区などの観光資源が豊富なため、ビジネス客だけでなく多くの外国人観光客を惹きつける産業構造が構築されています。第一次産業の割合が極めて低いのは、土地利用が高度に都市化・工業化されていることの裏返しです。
問8	答え 1 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問9	答え 3 足袋製造業	埼玉県行田市は、忍城の城下町としての歴史を持ち、江戸時代から足袋の製造が始まりました。明治から大正時代にかけてはミシンの普及により生産量が急増し、日本最大の足袋産地となりました。このため、市街地には製品を保管するための「足袋蔵」や、作業効率を高めるために北側から安定した光を取り入れる「鋸屋根（のこぎりやね）」の工場が数多く建てられ、現在も城下町特有の「柵形」の道路構造とともに独自の景観を形成しています。
問10	答え 1 夏でも冷涼な気候を利用して、平地での生産が難しい時期に野菜を栽培・出荷する高冷地農業。	群馬県の嬬恋村などに代表される地域では、標高が高いことによる「夏に冷涼な気候」を活かした農業が行われています。平地の気温が上昇し、キャベツなどの生育が難しくなる8月前後に収穫時期を合わせることで、市場への安定供給と高い収益を実現しています。冬の温かさを利用する「促成栽培」や、都市への近さを利用する「近郊農業」とは、利用する自然的・社会的条件が異なります。
問11	答え 1 近郊農業	東京などの大消費地を控える関東地方では、市場への近さを生かして新鮮な野菜を迅速に出荷する農業が発達しました。統計で上位に入っている茨城県や千葉県は、その代表的な地域です。輸送距離が短いため、鮮度を保ったまま市場に供給できることが大きな強みとなっています。
問12	答え 2 群馬県	富岡製糸場は、明治政府が外貨獲得のために高品質な生糸を大量生産する目的で、現在の群馬県富岡市に設立しました。群馬県は江戸時代から養蚕業（カイコを飼って繭をとる産業）が盛んであったため、原料となる繭の調達に非常に有利な条件が整っていました。長崎県などは「明治日本の産業革命遺産」として別の世界遺産に関連していますが、富岡製糸場は群馬県に位置します。